予算特別委員会

○審査にあたった

員長 角田 秀明 副委員長 熊田 宏

敬博、加藤 委 員 安井

宏樹、鈴木 鈴木 竹元 孝夫、柏村 栄、



矢吹町一般会計補正予算 議案第23号 (第6号) 審査 平成27年度

予算の総額をそれぞれ6 のであります。 び地方債の補正をするも で、併せて繰越明許費及 億5万1千円とするもの 千円を追加し、歳入歳出 出予算にそれぞれ巡万9 本案は、既定の歳入歳

すべきものと決しました。 議なく原案のとおり可決 審査の結果、全委員異

可 決

降司

夫

会計予算 矢吹町国民健康保険特別 議案第31号 平成28年度

ものであります。 歳出予算の流用を定める 万2千円とし、併せて、 時借入金の限度額及び 総額をそれぞれ2億% 本案は、歳入歳出予算

金をある程度残すことは も厳しく、会計運営上基 費税の値上げにより生活 討論に入り、昨年の消

に反対する意見、

一方、

ど、会計運営における十 ものと決しました。 結果、賛成多数により、 正な予算編成で賛成する 分な積算、検討のうえ適 り崩しや財源の充当な えたものであり、その取 る意見、一方、 が必要から本案に反対す 理解するが、 原案のとおり可決すべき 意見があり、挙手採決の により町民負担の軽減策 立ては、不測の事態に備 基金の充当 基金の積

可

別会計予算 議案第33号 矢吹町公共下水道事業特 平成28年度

策を講じる必要から本案 状況を考慮し、 債務負担行為、 万9千円とし、併せて、 の総額をそれぞれ5億% 担分が昨年から値上げさ 定めるものであります。 討論に入り、消費税負 本案は、歳入歳出予算 一時借入金の限度額を 新年度も厳しい経済 負担軽減 地方債及

議案第33号 会計予算

決

すべきものと決しました。 議なく原案のとおり可決 矢吹町土地造成事業特別 審査の結果、全委員里 平成28年度

可 決

ものであります。

特別会計予算 矢吹町農業集落排水事業 議案第34号 平成28年度

び一時借入金の限度額を 負担軽減策を講じる必要 税値上げの対象であり 債務負担行為、地方債及 万6千円とし、 の総額をそれぞれ2億汀 道同様に昨年からの消費 定めるものであります。 討論に入り、公共下水 本案は、歳入歳出予算 併せて

ランスを考慮した適正な ものと決しました。 原案のとおり可決すべき の結果、賛成多数により る意見があり、挙手採決 予算編成と認め、賛成す 営において、その収支バ 公共下水道事業の会計軍 予算特別委員会審議内容

可 決

万7千円とし、併せて: 歳出予算の流用を定める の総額をそれぞれ13億㎞ 矢吹町介護保険特別会計予算 議案第35号 時借入金の限度額及び 本案は、歳入歳出予算 平成28年度

すべきものと決しました。 増え対応策が必要なこと 値上げなど、介護差別が の消費税と介護保険料の 手採決の結果、賛成多数 賛成する意見があり、挙 な予算編成と認めるため 険特別会計の運営で適正 方、新年度による介護保 から反対する意見、一 により原案のとおり可決 討論に入り、昨年から すべきものと決しました。 により原案のとおり可決 で収支バランスを考慮し 手採決の結果、賛成多数 賛成する意見があり、挙 た適正な予算編成と認め から反対する意見、 — 方

可

矢吹町水道事業会計予算 議案第37号 平成28年度

ります。 万4千円とするものであ 予算の予定総額を4億550 8千円とし、 算の予定総額を4億5万 本案は、 収益的収入予 収益的支出

のと決しました。 案のとおり可決すべきも 結果、賛成多数により原 意見があり、挙手採決の 支バランスを考えた適正 必要から反対する意見、 軽減など対応策を講じる 値上げなど、町民の負担 な予算編成から賛成する 方、企業会計として収 討論に入り、 消費税の

可

やぶき議会だより

別会計予算

6

矢吹町後期高齢者医療特

議案第36号

平成28年度

)

171号

すべきものと決しました。

可

決

議なく原案のとおり可決

審査の結果、

全委員里